

【成果と課題】（１）

●成 果

- 地域の健康課題解決の取組について、事業企画・実施・評価に至るまで地域・職域関係者が共同して実施したことで、健康づくり事業への連携協働体制が構築できた。
- 事業所や地域、学校への出前講座等の実施により地域・職域双方の人材の活用体制が図れた。
- 健診受診率の向上を図るための地域・職域ワーキングの開催により、地域全体への普及啓発が図れた。

【成果と課題】（2）

●今後の課題

- 地域全体の健康課題の把握と評価を行うため、経年的に調査を実施し、評価・分析するシステムを構築することが必要。
- メンタルヘルスは大規模事業所での最重要課題であり、また小規模事業所においても事業主のメンタルヘルスが問題とされていることからストレス対処能力向上にむけた地域全体での予防活動の実践が必要。
- 健診（がん検診を含む）受診率が全圏域で低調であることから、受診率向上を図るための地域・職域ワーキングを全ての圏域で開催し、特定健診とがん検診を併せて実施する等、受診率向上に向けた取組が必要。